

総合的な学習の時間の 教育課程編成について

総合的な学習の時間の実施に向けて →小・中学校ともにH30から新しい学習指導要領による実施(全ての学校が見通す必要がある)

教育課程の編成

□ 1 総合的な学習の時間の全体計画

○各学校は、第1の目標及び学校の教育目標を踏まえ、総合的な学習の時間の目標を定めます。
→目標の中に、育成を目指す資質・能力を示します。

○指導計画の要素

(1) 必須の要件として示すもの

- ①この時間を通して実現を目指す「目標」
- ②「目標を実現するにふさわしい探究課題」及び「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」からなる「内容」
- (2) 基本的な方針等や内容を概括的に示すもの
- ③実際に児童生徒が行う「学習活動」
- ④③の実施に必要な「指導方法」
- ⑤「学習の評価」(児童生徒の学習状況の評価、教師の学習指導の評価、指導計画の評価)
- ⑥①～⑤の計画、実施を適切に推進するための「指導体制」

(3) その他、各学校が全体計画を示す上で必要と考えるもの

□ 2 年間指導計画

○標準授業時数(小学校3年～6年は70時間)(中1は50時間、中2・3は70時間)

○単元については、一定のまとまりの時数を確保します。

○単元名、主な学習活動、活動時期、予定時数、その他必要な要素などを明記します。

○各教科等との関連を明らかにします。

→単元配列表

○横断的、総合的、探究的な学習となりえないもの(行事や練習等)については位置付けません。

義務教育課HPに例を公開中

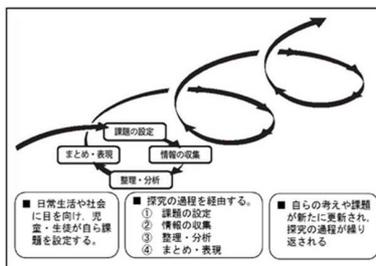
指導

□ 1 学習指導の基本的な考え方

- (1) 児童生徒の主体性を重視します。
- (2) 児童生徒の資質・能力の育成につながるよう、教師が適切な指導を行います。
- (3) 身近にある具体的な教材、発展的な展開が期待される教材を用意します。

□ 2 探究的な学習の過程の一層の充実

○「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探究プロセスがスパイラルに展開するようにします。



□ 3 他者と協働して主体的に取り組む学習活動の充実

- 多様な情報を活用して協働的に学ぶ
- 異なる視点から考え協働的に学ぶ
- 力を合わせたり交流したりして協働的に学ぶ
- 主体的かつ協働的に学ぶなどの学習活動を充実させます。(学習指導要領解説P102～)

評価

□ 1 児童生徒の学習状況の評価

○各学校が設定した観点の趣旨を明らかにした上で、それらの観点のうち、児童生徒の学習状況に顕著な事項がある場合にその特徴を記入する等、児童生徒にどのような資質・能力が身に付いたかを文章で記述します。

○移行期間中における学習評価は、現行小・中学校学習指導要領の下の評価規準に基づき、学習評価を行うこととされています。

○評価規準を設定します。(年間や単元を通して設定した、育成を目指す資質・能力をそのまま当てはめることができます)

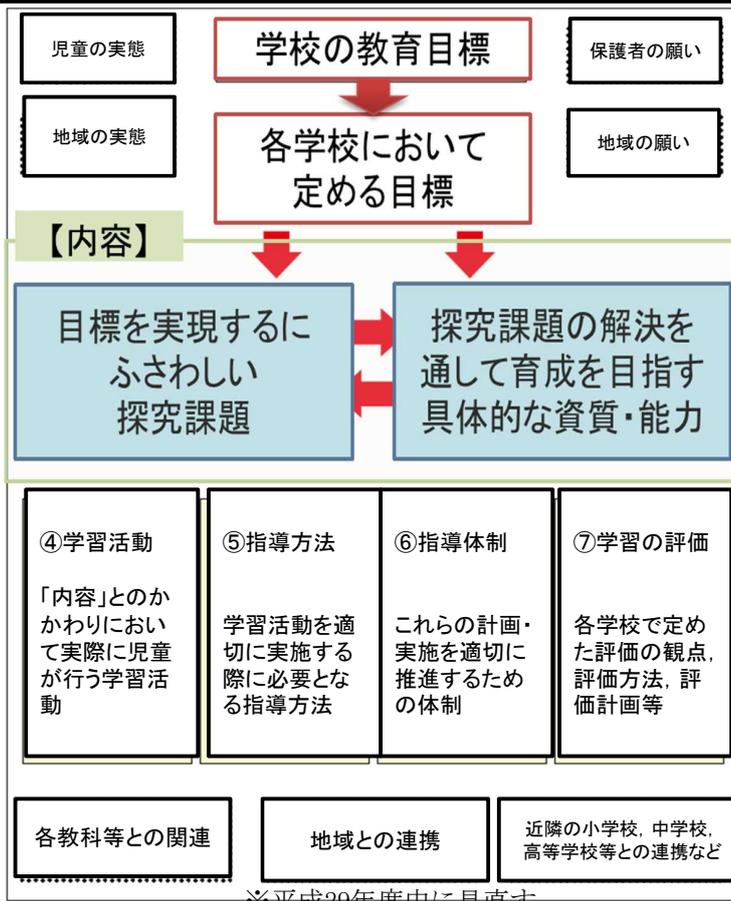
○児童生徒の成長を多面的に捉えるために、多様な評価方法や評価者による評価を適切に組み合わせます。

- ①発表やプレゼンテーション
- ②話し合い、学習や活動の状況などの観察
- ③レポート、ワークシート、ノート、作文、論文などの制作物
- ④学習活動の過程や成果などの記録や作品を計画的に集積
- ⑤評価カードや学習記録などの自己評価や相互評価
- ⑥教師や地域の人々等による他者評価 等

□ 2 教育課程の評価

○カリキュラム・マネジメントの視点からの評価

- ①児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み合わせること
- ②教育課程実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ③教育課程の実施に必要な人的または物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

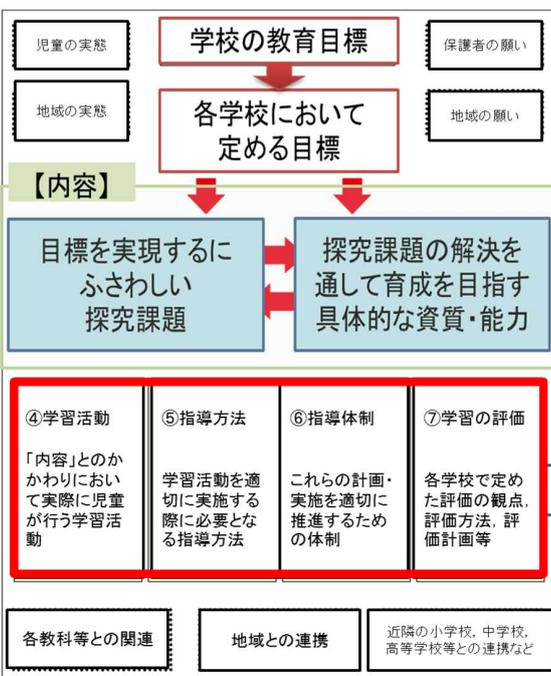


※平成29年度中に見直す

- 【必須の要件】**
- ①各学校における教育目標
 - ②各学校において定める目標
 - ③各学校において定める内容
(目標を実現するにふさわしい探究課題, 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力)
- 基本的な内容や方針等を
概括的に示す
- ④学習活動
 - ⑤指導方法
 - ⑥指導体制(環境整備、外部との連携)
 - ⑦学習の評価

- その他、各学校が必要と考えるもの
- ・年度の重点
 - ・地域の実態
 - ・学校の実態
 - ・児童の実態
 - ・保護者の願い
 - ・地域の願い
 - ・教職員の願い
 - ・各教科等との関連
 - ・地域との連携
 - ・中学校との連携
 - ・近隣の小学校との連携 等

全体計画において概括的に示す4つの事項



【④学習活動】

- ・地域の実態，児童の実態を踏まえ，探究課題を設定する。
- ・地域の人，もの，ことを生かした学習活動を行う。
- ・学習成果を表現する場を設定する。
- ・年間1テーマでの取組を基本とする。 など

【⑤指導方法】

- ・児童の課題意識を連続，発展させる支援と工夫を行う。
- ・個に応じた指導の工夫を行う。
- ・体験活動を重視する。
- ・各教科等との関連を重視した指導を行う。
- ・協働的な学習を充実させる。 など

【⑥指導体制】

- ・全校指導体制を組織する。
- ・運営委員会における校内の連絡調整と指導体制を確立する。
- ・ワークショップ研修を重視する。
- ・メディアセンターとしての余裕教室及び学校図書館の整備・充実を図る。
- ・地域の教育資源をデータ化するとともに，日常的な関わりを行う。 など

学校として，この時間の教育活動の基本的な在り方を示すのに必要な内容や方針に絞って，数点を簡条書きにするなど簡潔な記述となるよう工夫する

【⑦学習の評価】

- ・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。
- ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。
- ・個人内評価を重視する。
- ・指導と評価の一体化を充実する。
- ・授業分析による学習指導の評価を重視する。
- ・学期末，学年末には指導計画を評価・改善し，次年度の計画に生かす。 など

月	単元名	6月	7月	9月	10月	11月	予定時数	1月	活動時期
ねらい	〇〇川の生き物との関わりや生き物に関する調査活動、川の環境を守るための取組を進めよう。(70時間)								
計画	<p>【体験活動】 ・〇〇川に生学校等で飼育を整える。</p> <p>【情報収集】</p> <p>【振り返り】 ・〇〇川の生き物を見たり飼ったりしている人が少なく驚いた。たくさん生き物がある〇〇川の環境などについても調</p>	<p>【学習活動(小単元1)】</p> <p>育成を目指す資質・能力</p> <p>【情報収集】</p> <p>【振り返り】 ・〇〇川の生き物を見たり飼ったりしている人が少なく驚いた。たくさん生き物がある〇〇川の環境などについても調</p>	<p>【育成を目指す資質・能力】</p> <p>【情報収集】</p> <p>【振り返り】 ・〇〇川の生き物を見たり飼ったりしている人が少なく驚いた。たくさん生き物がある〇〇川の環境などについても調</p>	<p>【課題の設定】</p> <p>・夏休みの自由研究発表会を行う。</p> <p>・教室で飼っている生き物をどうすることが幸せなのか調べたり話し合ったりする。</p> <p>【振り返り】 ・〇〇川の生き物を見たり飼ったりしている人が少なく驚いた。たくさん生き物がある〇〇川の環境などについても調</p>	<p>【課題の設定】</p> <p>・自分の関心から課題を設定し、解決方法を考える。(B①)</p> <p>【振り返り】 ・〇〇川の生き物を見たり飼ったりしている人が少なく驚いた。たくさん生き物がある〇〇川の環境などについても調</p>	<p>【課題の設定】</p> <p>・生き物がある川を大切にしようためには、どのような取組を進めればよいか考える。</p> <p>【情報収集】</p> <p>【振り返り】 ・〇〇川の生き物を見たり飼ったりしている人が少なく驚いた。たくさん生き物がある〇〇川の環境などについても調</p>	<p>育成を目指す資質・能力</p> <p>【振り返り】 ・〇〇川の生き物を見たり飼ったりしている人が少なく驚いた。たくさん生き物がある〇〇川の環境などについても調</p>	<p>育成を目指す資質・能力</p> <p>【振り返り】 ・〇〇川の生き物を見たり飼ったりしている人が少なく驚いた。たくさん生き物がある〇〇川の環境などについても調</p>	
<p>小学校3年生～6年生 70時間</p> <p>各学校が実施する教育活動の特質に応じて、必要な要素を盛り込み、活用しやすい様式に工夫して表す</p> <p>単元のねらい、児童の意識、各教科等との関連、外部講師や異校種との連携などを記す場合もある</p>									

年間指導計画の作成及び実施上の配慮事項

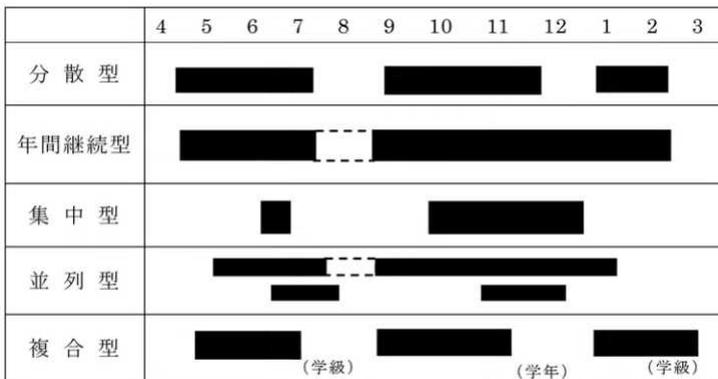


図2：単元配列のパターン例

- 児童の**学習経験**に配慮する
- 季節や行事など**適切な活動時期**を生かす
- 各教科等との**関連**を明らかにする
- 外部の教育資源の活用及び**異校種との連携や交流**を意識する

【分散型】

総合的な学習の時間の単元を学期ごとなどいくつかの期間に分けて配列するもの。このとき、単元ごとに取り扱われるテーマが異なることが多い。

【年間継続型】

1年間を通じて同じテーマで継続的に取り組むもの。ただし、年間を通じて取り組む場合でも、活動には必ずと一定のまとまりがあり、まとまりごとにいくつかの単元に分かれることがあることに留意する。

【集中型】

季節や地域の行事などを中核にして、ある期間に集中的に取り組むもの。その期間は、総合的な学習の時間を中心として学校生活が組織される場合もある。

【複合型】

学年単位の活動と学級単位の活動など、異なる学習形態や学習集団などを組み合わせて取り組むもの。

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	※			
国際	物語のつづきをそうぞうしよう	発見ノートを作ろう 大事なことをまとめよう	理由や例をあげて説明しよう	筋道を立てて発表しよう 言葉の使い方を考えよう	いろいろな手紙を書こう 調べたことをほくしよう	ローマ字 絵文字について説明しよう	話し合ってみんなの考えをまとめよう	日本の文化に親しもう		調べてほくしよう 中心場面を明らかにして書こう					
社会	わたしたちの大好きなまち わたしの住む町はどんなまち			わたしたちの市の様子	働く人とわたしたちのくらし 店で働く人と仕事		工場(農家)で働く人と仕事	変わるわたしたちのくらし 受け継がれる仕事		昔の道具と暮らし					
算数											棒グラフと表				
理科	「比較する」	単元名	予定時数												
総合	まちのおすすめスポットを紹介しよう(20) ・まち探検をして、〇〇に紹介したい場所を探す。 ・紹介したい場所を整理したり、理由を考えたりする。 ・紹介したい場所を決め、表現方法を考える。 ・おすすめスポット発表会をする。				自分たちのごまだし料理をつくろう(50) ・郷土料理であるごまだしについて調べ、わかったことをまとめ、課題をつくる。(ごまだしパーティをしよう) ・ごまだしパーティに出す料理を考える。 ・考えた料理を比較・多面的に検討し、出す料理を決める。 ・実際に調理する。 ・ごまだしパーティの準備をし、招待する方を決め、パーティを開く。										
特活															
道徳	※内容項目で簡単に示していますが、具体的な教材名と内容項目を標記すると分かりやすいと思います。				礼儀	感謝				伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度					
外国語															
音楽															
図工															
体育															
総合	何をつなぐか？				「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」										
総合	どのようにつなぐか？				シンプルにつなぐ (1)重点化(①中核となる教科等 or ②中心となる能力) (2)精選(強い関係に限定)										
参考	田村, 2017.9.7 深い学びを実現する教科等別協議会											7			

教育課程編成のフローチャート 【総合的な学習の時間編】

